



各 位

2022年 3 月 29日

会 社 名 株式会社三ツ星
代 表 者 代表取締役社長 競 良一
(JASDAQ・コード 5820)
問合せ先 執行役員技術部長 磯嶋 良人
電話番号 0748-86-6142

「ウエイトバランス式仮設用エレベーターケーブル」製品化のお知らせ

この度、当社は新製品として、「ウエイトバランス式仮設用エレベーターケーブル(WB-CVCT-HS)」を開発しましたのでお知らせいたします。

近年、建造物の高層化に伴い、工事現場で使用される仮設用エレベーターケーブルに対しては、より高い耐久性、安全性が求められており、この要望に応えるため耐張力・耐しごき性を向上させたケーブルを開発致しました。

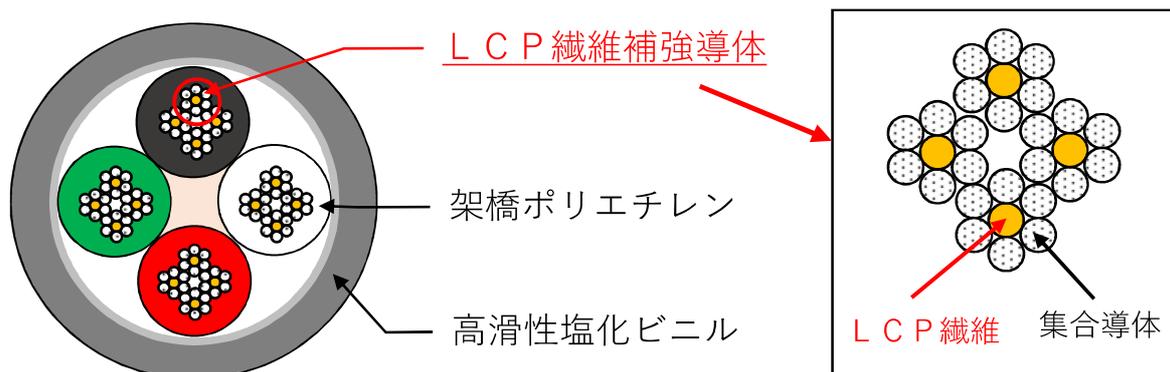
導体補強材として従来品に使用されるアラミド繊維の約1.2倍の破断強度を有するLCP(Liquid Crystal Polymer)繊維を使用することで、耐張力性を向上させました。ビルや高速道路などの建設現場で利用される仮設用エレベーターへの使用に適しており、複合ケーブルとしてカスタマイズすることも可能です。

皆様、より一層ご愛顧賜りますようお願い致します

以上

アラミド繊維より強度に優れる LCP 繊維を使用した製品が 登場！

LCP 繊維補強導体 ウエイトバランス式仮設用エレベーターケーブル WB-CVCT-HS 耐張力・耐しごき性キャブタイヤケーブル



LCP (Liquid Crystal Polymer) 繊維とは

液晶ポリエステル繊維と呼ばれ、従来品に使用されているアラミド繊維より強度に優れており、ケーブルの長寿命化(省資源)が図られます。

導体にLCP繊維を挿入

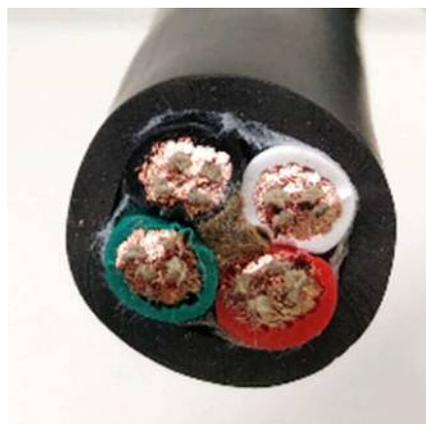
- ⇒BP-2PNCT(アラミド繊維を使用したケーブル)よりも耐張力が大幅に向上！
 - ・アラミド繊維の1.2倍の引張強度のLCP繊維を挿入
 - ・挿入面積が拡大できる導体より形状を採用
- ⇒BP-2PNCTに比べ、細径化、軽量化を実現

絶縁体に架橋ポリエチレン使用

⇒BP-2PNCTに比べ、耐熱性が10℃上がり(定格90℃)、許容電流値が大きくなります

シースに高滑性塩化ビニル使用

- ⇒耐摩耗性が向上
- ⇒滑車でしごかれてもケーブルが蛇行し難くなっています



★性能比較表

	LCP繊維補強導体 ウェイトバランス式仮設用エレベーターケーブル (WB-CVCT-HS)	アラミド繊維補強導体 スターミックケーブルシリーズ 超耐屈曲性キャブタイヤケーブル (BP-2PNCT)
補強材	LCP繊維	アラミド繊維
絶縁材料	架橋ポリエチレン 90℃耐熱	エチレンプロピレンゴム 80℃耐熱
シース材料	高滑性塩化ビニル	クロロプレンゴム
耐張力 (引っ張りへの強さ)	○	△
耐しごき性	○	△
製品外径 (細さ)	○	△
製品重量 (軽さ)	○	△
耐熱性	○	△
耐摩耗性 (削れにくさ)	○	△

ウェイトバランス式とは

ウェイトバランス式は基本的なエレベータの構造で、おもりとカゴのバランスを調整することでカゴを上下に移動させます。

ケーブルはカゴとおもりにより常に強い張力が掛かった状態であり、滑車によってさらに負荷（大きなしごき）が掛かっています。

